

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	おかもと まこと	
氏名	岡本 真	
所属・役職	アカデミック・リソース・ガイド株式会社（arg）代表 株式会社 C&Y パートナーズ顧問	
活動拠点	基本的に横浜ですが、仕事柄全国を行脚しています	
略歴	1973 年生。1997 年、国際基督教大学（ICU）卒業。編集者等を経て、1999 年、ヤフー株式会社。Yahoo!知恵袋をプロデュース。2009 年、アカデミック・リソース・ガイド株式会社（arg）を設立。「学問を生かす社会へ」をビジョンに掲げ、“Research”&“Design”を軸に、息長い産官学民融合による「共創」「共治」を模索している。近年実績に協働・創発型オフィス「さくら WORKS<関内>」、来訪型町屋シェアハウス「鍵屋荘」、文化機関の被災・支援情報共有のための「saveMLAK」、ユーザー参加型研究の世界の実現を図る「ニコニコ学会β」、創造的復興のための融合施設「須賀川市民交流センター tette」等がある。単著共著に『未来の図書館、はじめます』（青弓社、2018 年）、『未来の図書館、はじめませんか？』（青弓社、2014 年）、『ウェブでの<伝わる>文章の書き方』（講談社現代新書、2012 年）等。桃山学院大学、京都芸術大学で非常勤講師。	
地域情報化の 専門分野・技術	情報・知識を生かした都市経営・地域経営。この観点から、（1）地域における情報・知識の創造・交流拠点としての図書館の整備、（2）公開・協働・参画を実現するオープンガバメント（ガバメント 2.0）、（3）数百万円から数億円までの資金調達（クラウドファンディング等）を総合的に展開。	
専門分野	オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI 活用 生成 AI 活用 シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） デジタルデバйд対策 防災 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館 働き方 子育て テレワーク 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ ICT 活用広報 プロジェクトマネジメント支援	
自治体向けメッセージ	市民協働や公民連携を前提とした行政依存ではない自立型の事業展開を重視します。そのために補助金や助成金に依存しない、持続可能性と地域経済循環の実現を追求します	

関連サイト		ウェブ： http://arg-corp.jp/ Twitter： https://twitter.com/arg Facebook： http://www.facebook.com/makoto.okamoto
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	過去のアドバイザー等での対応実績 宮城県※、秋田県、横手市、仙台市、名取市、柴田町、いわき市、大熊町、佐野市、埼玉県、成田市、小田原市、小諸市、松川村、白山市、中津川市、浜松市、掛川市、大山崎町、大阪市※、岸和田市、阪南市、丹波市、淡路市、南あわじ市、鳥取県、琴浦町、瀬戸内市※、津山市※、備前市、山口市、高松市、坂出市、琴平町、高知市、佐川町、四万十町、福智町、日出町、長与町、指宿市※、沖縄県、沖縄市、恩納村、久米島町 ※は「地域情報化アドバイザー派遣過年度優良事例」に選定。大阪市は Library of the Year 2017 優秀賞、ICT 地域活性化大賞 2019 優秀賞、2018 年度勝手表彰貢献賞（VLED）を受賞。
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	宮城県：県図書館の震災デジタルアーカイブ構築の技術助言 柴田町：新図書館町民普及展開事業への助言 掛川市：掛川市立図書館未来構想ワークショップの実施等 浜松市：図書館の未来構想の策定支援（ワークショップ実施を含む） 大阪市：大阪市立中央図書館のデジタルアーカイブのオープンデータ化 瀬戸内市：デジタルアーカイブ「せとうちデジタルフォトマップ」への助言 津山市：オープンデータの普及・啓発（ウィキペディアタウン等） 琴浦町：既存公共施設のリノベーションの方針策定助言 指宿市：NPO による「ブックカフェ」事業のためのクラウドファンディング 恩納村：恩納村文化情報センターにおける観光関連サービスの構想・構築